

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2003 年1 月30 日 (30.01.2003)

PCT

(10) 国際公開番号  
WO 03/009263 A1(51) 国際特許分類: G09F 9/00, G06F  
1/16, H05K 5/02, 7/12, G02F 1/1333神奈川県 川崎市中原区 上小田中 4 丁目 1 番 1 号  
Kanagawa (JP).

(21) 国際出願番号: PCT/JP02/03463

(22) 国際出願日: 2002 年4 月5 日 (05.04.2002)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:  
特願2001-209740 2001 年7 月10 日 (10.07.2001) JP(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 富士  
通株式会社 (FUJITSU LIMITED) [JP/JP]; 〒211-8588

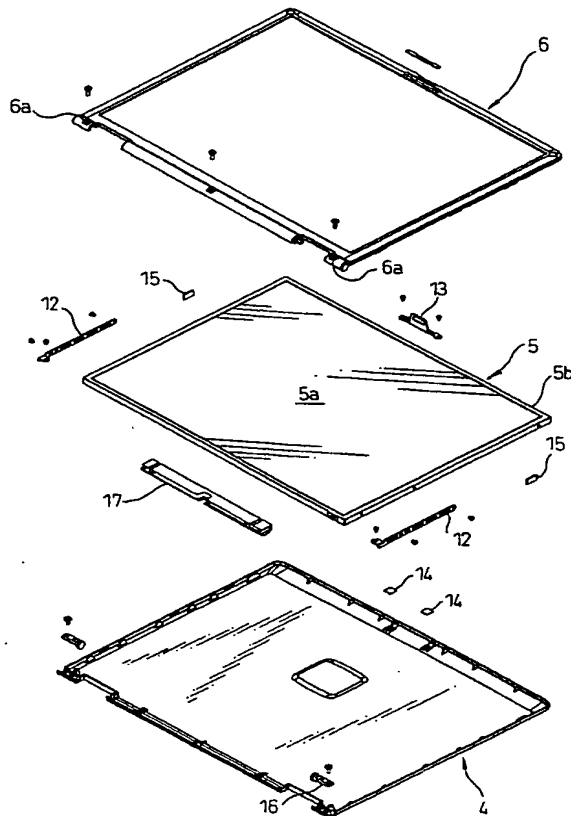
(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 熊谷 実 (KU-  
MAGAI, Minoru) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県 川崎市  
中原区 上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会  
社内 Kanagawa (JP). 井上 康一 (INOUE, Koichi) [JP/JP];  
〒211-8588 神奈川県 川崎市中原区 上小田中 4 丁目  
1 番 1 号 富士通株式会社内 Kanagawa (JP). 大西 益生  
(OHNISHI, Masuo) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県 川崎  
市中原区 上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会  
社内 Kanagawa (JP).

[続葉有]

(54) Title: FLAT UNIT STRUCTURE

(54) 発明の名称: 平面ユニット構造体



(57) Abstract: An information processing apparatus, especially a display apparatus or a flat display unit also serving as an input apparatus is required to be reduced in size since it is mounted on a case. For this, a flat unit structure in which a flat-plate-shaped rectangular flat display unit (5) is fixed to the case (4) with fixing members (12, 13) at three positions: at three positions: at the right and left sides and the upper center of the flat display unit (5) is characterized in that the right and left side of the flat display unit (5) are fixed to a back cover (4) serving as the case by using the fixing member (12) via a screw while the upper center of the flat display unit (5) is fixed to the case by sandwiching the back surface and the front surface by using the fixing member (13).

[続葉有]

WO 03/009263 A1



(74) 代理人: 石田 敬 外 (ISHIDA, Takashi et al.); 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル 青和特許法律事務所 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

情報処理装置、特に表示装置あるいは入力装置も兼ねた平面表示ユニットは、筐体に取り付ける際に小型化を達成することが要求される。このため、平板状で矩形状の平面表示ユニット（5）を、その左右両側と上面中央部の3箇所それぞれ固定金具（12、13）により筐体（4）に固定する構造であって、平面表示ユニット（5）の左右両側は金具（12）を用いてねじを介して筐体であるバックカバー（4）に固定し、平面表示ユニット（5）の上面中央部はその裏面・表面間を金具（13）により挟み込んで筐体に固定したことを特徴とする平面ユニット構造体を提供される。

## 明 細 書

## 平面ユニット構造体

## 技術分野

本発明は平面ユニット構造体、特に表示ユニットを有する情報処理装置、情報処理装置における平面表示ユニットの筐体への取付構造に関する平面ユニット構造体に係る。

情報処理装置はその小型化・軽量化が要求されているが、特に表示装置あるいは入力装置をも兼ねた平面表示ユニットは、筐体に取り付けられた構造において小型化を達成することが要求されている。

## 背景技術

従来、携帯型あるいはノートブックタイプのワードプロセッサやパーソナルコンピュータ等の情報処理装置（以下、コンピュータという）は、キーボード等の入力装置を具備する本体と、この本体に対して開閉可能に構成された表示部とからなるが、表示部としては平面表示ユニットが使用される。この平面表示ユニットは蓋を構成する筐体に固定される。

平面表示ユニットの筐体への固定は、従来、矩形状の平面表示ユニットの4つの隅部においてねじ等の固定手段を用いて固定される構造が一般であった。このような構造であると、蓋を構成している筐体の内側の部分と、矩形状の平面表示ユニットの側面との間に、ねじ等を配置するためのスペースが必要となり、装置の小型化を達成することが困難であった。

また、ノートタイプのコンピュータにおいては、本体に対して表示部を閉じた状態で、極力薄くすることが要求されている。したが

って、本体はもとより表示部も極力薄くする必要がある。このことから、平面表示ユニット平面表示ユニットと筐体との間に、厚さ方向のスペースを極力小さくしなければならない。したがって、平面表示ユニットの裏側の筐体との間や平面表示ユニットの上縁面や側縁面と筐体の壁部との間のスペース部分にボルト等の固定部材を配置することは好ましくない。

## 発明の開示

情報処理装置はその小型化・軽量化が要求されているが、特に表示装置あるいは入力装置も兼ねた平面表示ユニットは、筐体に取り付ける際に小型化を達成することが要求されている。そのため、平面表示ユニットを筐体に取り付ける場合において、平面表示ユニットと筐体間のスペースを極力小さくすることが望まれる。

上記の課題を達成するために、本発明によれば、矩形状の平面表示ユニットを、その左右両縁と中央上縁の3箇所では筐体に固定する構造であって、平面表示ユニットの左右両縁面にそれぞれ、側部固定金具がねじにより固定され、該側部固定金具がねじにより筐体に固定されていると共に、平面表示ユニットの中央上縁は裏面・表面間を挟み込んで筐体に固定されていることを特徴とする平面ユニット構造体が提供される。本発明によれば、矩形状の平面表示ユニットを、その左右両縁はねじを介して、中央上縁は裏面・表面間を挟み込むことにより筐体に固定する構造としたので、平面表示ユニットと筐体との間に、平面表示ユニットを固定するための特別なスペースを必要とせず、したがって装置の小型化を達成することができる。

平面表示ユニットの中央上縁は、裏面が筐体に固定されたシートに接触し、表面が筐体に固定された上中央固定金具のつめ部に接触

し、これらの間に挟み込まれて固定されることを特徴とする。このように、平面表示ユニットの中央上縁は、シートとつめ部との間に挟み込まれて固定される構造としたので、平面表示ユニットの裏面・表面間の位置を都合よく規制することができる。

前記シートは弾性部材により構成されていることを特徴とする。これにより、平面表示ユニットの中央上縁は、シートとつめ部との間で弾性的に保持・固定されるようになる。

前記上中央固定金具は、本体と、該本体に対して開閉可能な平面表示ユニットを具備する表示部とからなる携帯型コンピュータの、フック部を具備し、表示部が本体に対して閉じられた時、表示部にある該フック部が本体にある係止部に係合することにより表示部が本体に対して固定されることを特徴とする。この場合は、平面表示ユニットの上中央部の固定部材を利用して、携帯型コンピュータの表示部と本体との間の係合を行うこととしているので、装置全体の部品点数を少なくすることができる。

前記フック部は前記上中央固定金具に形成された開口からなり、該開口が本体部の係止部を規定するつめ状部分に係合することにより表示部が本体に対して固定されることを特徴とする。

前記上中央固定金具は平面表示ユニットの上縁に平行な方向に隔てた2箇所の位置に固定用の穴を有し、これらの穴によりねじで筐体に固定されることを特徴とする。これにより、上中央固定金具は筐体に対して安定的に固定される。

前記つめ部は平面表示ユニットの上縁に平行な方向に隔てて2つ設けられ、該2つのつめ部の間に前記フック部が形成されていることを特徴とする。

前記シートも前記2つのつめ部のそれぞれに対向して2つ設けられていることを特徴とする。

前記側部固定金具は、平面表示ユニットの左右両縁面にそれぞれ沿って延びる帯状部と、平面表示ユニットの左右両縁面の下端部を超えた部分にて前記帯状部に対して直角に折れ曲がった平坦な基端部とが一体形成されたＬ字形金具として構成されていることを特徴とする。

前記側部固定金具の帯状部は、平面表示ユニットの左右両縁面に沿って複数箇所ねじにより該平面表示ユニットに固定され、前記平坦部は１箇所ねじにより筐体に固定されていることを特徴とする。

前記側部固定金具はばね性を有する金属材料により構成されていることを特徴とする。

前記側部固定金具の前記基端部と反対側の先端部は、平面表示ユニットの左右両縁面から離れていて、筐体の内壁面に弾発的に接触していることを特徴とする。

前記側部固定金具の前記帯状部と筐体の内壁面との間に緩衝部材を設けたことを特徴とする。

前記緩衝部材はばね性の金属材料からなることを特徴とする。

また、本発明によると、本体と、該本体に対して開閉可能な平面表示ユニットを具備する表示部とからなる携帯型コンピュータであって、

前記表示部は、筐体と、矩形状の平面表示ユニットとを具備し、該平面表示ユニットは、左右両縁面にそれぞれ、側部固定金具がねじにより固定され、該側部固定金具がねじにより筐体に固定されていると共に、中央上縁は裏面・表面間を挟み込んで筐体に固定されていることを特徴とする携帯型コンピュータが提供される。

前記表示部は、矩形状の平面表示ユニットの外周に沿って該平面表示ユニットを筐体との間で挟み込むように装着される枠状のフロ

ントカバーを具備することを特徴とする。

前記筐体は、平面表示ユニットの縁面と筐体の内壁面との間に、平面表示ユニットの上面に沿って間隔をおいて複数個のリブが一体的に設けられていることを特徴とする。

更に本発明によると、矩形状の平面表示ユニットをその厚さ方向の両面からフロントカバーとバックカバーとの間に挟んで固定するようにした平面ユニット構造体において、前記平面表示ユニットの側面にねじにより金具を取付け、該金具と当接するようにクッション材を介在させて、前記平面表示ユニットの上下面或いは左右側面を前記クッション材を介して前記カバーに固定するようにしたことを特徴とする平面ユニット構造体が提供される。

1対の前記金具が、前記平面表示ユニットの左右両側面にそれぞれ取付けられていることを特徴とする。

各金具は、前記平面表示ユニットの厚さと略同一の幅を有する帯状板からなり、その両端にて、前記平面表示ユニットの上下面に当接する方向に折れ曲がった1対の折れ曲がり部を有することを特徴とする。

前記クッション材は、前記平面表示ユニットの側面に固定された前記金具の長さ方向の両端付近にて、前記金具に1対貼付され、更に、前記1対の折れ曲がり部の外側に1対配置されていることを特徴とする。

各金具は、その長さ方向の端部に近い2箇所の位置にてそれぞれねじにより前記平面表示ユニットの側面に固定され、これらのねじ固定位置の端部側の位置にて、前記クッション材が該金具に貼付されていることを特徴とする。

各金具は、その幅方向の片側の位置にて、前記平面表示ユニットとは反対側に折れ曲がった第2の折れ曲がり部を有し、これらの第

2の折れ曲がり部は、金具の長さ方向の中央部を除いて両端側に設けられ、平面表示ユニットがフロントカバーとバックカバーとの間に挟まれて固定される際、フロントカバーに設けられたリブに当接することを特徴とする。

フロントカバーの左右両側に、1対のヒンジのアーム部がねじにより固定され、前記平面表示ユニットの側面に固定された金具と該ヒンジのアーム部との間に前記クッション材が介在されていることを特徴とする。

各ヒンジのアーム部は、前後2箇所の位置にて、矩形棒状のフロントカバーの周囲にそって設けられた立ち上がり壁部にねじにより固定されていることを特徴とする。

更に本発明によると、本体と、該本体に対して開閉可能な平面表示ユニットを具備する表示部とからなり、前記表示部は、矩形状の平面表示ユニットを厚さ方向の両面からフロントカバーとバックカバーとの間に挟んで構成されてなる携帯型コンピュータであって、

前記平面表示ユニットの側面にねじにより金具を取付け、該金具と当接するようにクッション材を介在させて、前記平面表示ユニットの上下面或いは左右側面を前記カバーに固定するようにしたことを特徴とする携帯型コンピュータが提供される。

フロントカバーの左右両側に、1対のヒンジのアーム部がねじにより固定されており、前記平面表示ユニットの側面に固定された前記金具と該ヒンジのアーム部との間に前記クッション材が介在されていると共に、各ヒンジは、その基端部が、装置の本体側に固定され、表示部の本体部に対する開閉を可能ならしめることを特徴とする。

また、前記平面表示ユニットの両側に1対のヒンジが設けられ、各ヒンジは、アーム部に相当する部分を有しておらず、一方で前記



本体にねじで固定され、他方で前記フロントカバー又はバックカバーに固定され、前記平面表示ユニットを前記本体に対して開閉可能としていることを特徴とする。

#### 図面の簡単な説明

図 1 は本発明の平面ユニット構造体、特に平面表示ユニットの取付構造を採用した携帯型コンピュータの外観図である。

図 2 は本発明の第 1 の実施形態に係る平面表示ユニットの取付構造を採用した携帯型コンピュータの表示部の分解斜視図である。

図 3 は同携帯型コンピュータの表示部の平面図である。

図 4 (a)、(b)、(c) は、図 3 に示した表示部の A-A、B-B、C-C における、拡大断面図である。

図 5 は表示部の筐体を形成するバックカバーの斜視図である。

図 6 は平面表示ユニットの側部固定用金具の斜視図である。

図 7 は平面表示ユニットの上中央部固定用金具の斜視図である。

図 8 は上中央部固定用金具をバックカバーに取付けた状態を示す斜視図である。

図 9 は上中央部固定用金具により平面表示ユニットを固定した状態を示す斜視図である。

図 10 及び図 11 はバックカバーの左上部の斜視図である。

図 12 は本発明の第 2 の実施形態に係る平面表示ユニットの取付構造を採用した携帯型コンピュータの表示部の分解斜視図である。

図 13 は平面表示ユニット 25 の両側にサポート用の金具 27 を取り付けた状態を示す斜視図、図 14 は図 13 の A 部の拡大斜視図、図 15 は図 13 の B 部の拡大斜視図である。

図 16 はフロントカバー 26 の両側にヒンジ 30 を取付けた状態を示す斜視図である。

図 1 7 は図 1 6 の C 部の拡大斜視図、図 1 8 は図 1 6 の D 部の拡大斜視図である。

図 1 9 は平面表示ユニットをバックカバーとフロントカバーとの間で挟み込んで固定した状態を示す平面図である。

図 2 0 は図 1 9 の E - E に沿った拡大断面図、図 2 1 は図 1 9 の F - F に沿った拡大断面図、図 2 2 は図 1 9 の G - G に沿った拡大断面図、図 2 3 は図 1 9 の H - H に沿った拡大断面図ある。

図 2 4 は本発明の別の実施の形態で、アーム部分のないヒンジとフロントカバーを示す分解斜視図である。

#### 発明を実施するための最良の形態

以下、添付図面を参照して本発明の実施の形態について詳細に説明する。

図 1 は本発明の平面表示ユニットの取付構造を採用した携帯型コンピュータの外観図である。携帯型コンピュータは詳細には図示しないがキーボードやポインター等を備える本体 1 と、平面表示ユニットを具備する表示部 2 からなり、表示部 2 はヒンジ 3 により本体 1 に対して回転可能で本体 1 に対して開閉できるようになっている。即ち、この携帯型コンピュータの使用時には表示部 2 は開かれ、非使用時は閉じることが出来る。

次に、図 2 ～図 1 1 を参照して本発明の第 1 の実施形態について説明する。

図 2 は本発明の第 1 の実施形態を示すもので、携帯型コンピュータの表示部の分解斜視図である。表示部 2 は筐体を構成するバックカバー 4、平面表示ユニット 5、フロントカバー 6 からなる。平面表示ユニット 5 は後述するように筐体を構成するバックカバー 4 に取付けられた後、フロントカバー 6 が平面表示ユニット 5 の周囲に

はめ込まれて形成される。

図 3 は携帯型コンピュータの表示部の平面図である。バックカバー 4、平面表示ユニット 5、フロントカバー 6 を組み立てた状態で示している。図 4 は図 3 に示した表示部の各部を示す断面図である。平面表示ユニット 5 は全体として矩形の平板状で、中央の大部分の領域を占める液晶表示部 5 a の周囲が枠部 5 b で囲まれた形態のものである。この枠部 5 b は平面表示ユニット 5 の固定等のために使用される部分である。

このように、表示部 2 は、バックカバー 4、平面表示ユニット 5 およびフロントカバー 6 により構成されるが、本明細書では、図 1 に示されるように、表示部が本体 1 に対して開かれている使用状態で表示部 2 を見て、ヒンジ 3 側を下部、その反対側を上部、平面表示ユニット 5 はバックカバー 4 の側を裏面、フロントカバー 6 の側を表面と称することとする。

図 5 は表示部の筐体を形成するバックカバーの斜視図である。バックカバー 4 はその内側に平面表示ユニット 5 が取付けられる部材であり、その周囲は、ヒンジの取付けられる下側を除き、左右の側縁の壁部 7、8 および上縁の壁部 9 は立ち上がっている。これらの左右の壁部 7、8 および上部の壁部 9 の内側の側縁に沿って間隔をおいて複数のつめ部 4 c が一体的に形成されている。また、上部の壁部 9 の内側には、後述するように平面表示ユニット 5 との間隔を規制するためのリブ 4 a が、また左右両側の壁部 7、8 にもリブ 4 b が間隔をおいて複数設けられている。図 5 において、4 e、4 f、4 g、4 h は後述するねじ穴である。これらのねじ穴はバックカバー 4 の底壁から盛り上がった部分に形成されている。

このような形状を有するバックカバー 4 はマグネシウム合金等の材料を用いてダイキャスト等の成形品として形成することができる

。

図6は平面表示ユニットの側部固定用金具12の斜視図である。この側部固定用金具12は、板金加工された金属板からなり、図2にも示すように、平面表示ユニット5の枠部5bの左右両縁面にそれぞれ沿って延びる帯状部12aと、平面表示ユニット5の枠部5bの左右両縁面の下端部を超えた部分にて帯状部12aに対して直角に折れ曲がった平坦な基端部12bとが一体形成されたL字形金具として構成されている。そして、帯状部12aには平面表示ユニット5の枠部5bの左右両縁面に固定するためのねじを通す穴12cが長手方向に沿って複数個設けられ、一方、基端部12bには筐体であるバックカバー4に固定するためのねじを通す穴12dが1個設けられている。帯状部12aにはこの側部固定用金具12自体の重量を軽量化するための開口12eが長手方向に沿って複数個設けられている。

左右2つの対称形の側部固定用金具12を用いる。これらの金具12の帯状部12aが複数のねじにより平面表示ユニット5の枠部5bの左右両縁面にそれぞれ固定され、基端部12bが1つのねじによりバックカバー4のねじ穴部に固定されることにより、平面表示ユニット5の側部が筐体であるバックカバー4に固定される。側部固定金具12はばね性を有する金属材料により構成されている。

図示の実施形態では、側部固定用金具には図2に示すように液晶表示パネル5の左右両縁面の下側の領域1/3～1/2程度に延びているが、別の実施形態においては、側部固定金具12の基端部12bとは反対側の先端部が延長されていて、平面表示ユニット5の枠部5bの左右両縁面から離れていて、バックカバー4の内壁面7、8に対して弾発的に接触する構成とすることもできる。

図7は平面表示ユニット5の上中央部固定用金具13の斜視図で

ある。この上中央固定金具 1 3 は板金加工された金属板からなり、バックカバー 4 の底面に対して略平行な面を有しかつ平面表示ユニット 5 の上縁面に平行に延びた基部 1 3 d の両端に、この上中央部固定用金具 1 3 をバックカバー 4 に固定するためのねじ挿入用の 2 つの穴 1 3 a が形成されている。

この基部 1 3 d から長手方向の線 1 3 e に沿って約直角に折れ曲がり、その中央部分にあるフック部 1 3 b とねじ挿入用の穴 1 3 a との間の部分がさらに約直角に折れ曲がり、基部と略平行になった 2 つのつめ部 1 3 c が形成される。

上中央部固定用金具 1 3 の中央部にはフック部 1 3 b が形成されているが、このフック部 1 3 b は上中央固定金具 1 3 に形成された開口からなり、開口が携帯型コンピュータの本体 1 の係止部を規定するつめ状部分 1 a (図 1) に係合することにより表示部 2 が本体に対して固定される。即ち、表示部 2 が本体 1 に対して閉じられた時、表示部 2 にあるこのフック部 1 3 b が本体部 1 にある係止部に係合することにより表示部 2 が本体 1 に対して係止される。表示部 2 を本体 1 に対して開放しようとする時は、表示部 2 を本体 1 に対して回転させることでフック部 1 3 b が係止部との係合から外れ、表示部 2 を本体 1 に対して開くことができる。

図 8 は上中央部固定用金具 1 3 をバックカバー 4 にねじで取付けた状態を示す斜視図であり、図 9 は上中央部固定用金具 1 3 により平面表示ユニット 5 の中央上部を固定した状態を示す斜視図である。

バックカバー 4 には、上中央部固定用金具 1 3 を取り付けた際に、2 つのつめ部 1 3 c と対向する位置にシート 1 4 を有する。このシート 1 4 はゴムラバー等の弾性体から成る。そして、平面表示ユニット 5 をバックカバー 4 に固定する際は、上中央部固定用金具 1

3をねじによりバックカバー4に取り付け、上中央部固定用金具13の2つのつめ部13cと2つのシート14との間で平面表示ユニット5の上中央部を挟むようにして固定する。

図10および図11はバックカバー4の左上部および右上部の斜視図である。前述のように、バックカバー4の上端部には立ち上がり壁9の内側に間隔をおいて複数個のリブ4aが設けられている。このリブ4aは平面表示ユニット5の上下方向の位置を規制する。また、バックカバー4の左右両縁の立ち上がり壁7、8の内側には間隔をおいて複数個のリブ4bが左右側壁7、8と略平行に立ち上がるように形成されている。

次に、平面表示ユニット5を筐体であるバックカバー4に固定し表示部2を組み付ける手順について説明する。

まず、平面表示ユニット5の左右側面に、側面固定用金具12をねじにより固定する。この際、側面固定用金具12の複数のねじ穴12cを使用する。また、平面表示ユニット5の左右側面の、側面固定用金具12よりも上面寄りのリブ4bの位置に緩衝部材15（図2、図4（c））を張り付ける。緩衝部材は、両面接着テープでも良い。

次に、この平面表示ユニット5をバックカバー4にはめ込み、側面固定用金具12をねじによりバックカバー4の固定する。この際、側面固定用金具12のねじ用の穴12dを使用するとともに、バックカバー4側のねじ穴4e（図5）を使用する。

さらに、平面表示ユニット5の中央上縁を、上中央固定金具13により固定する。この際、上中央固定金具13の両端のねじ用の穴13aを使用するとともに、バックカバー4側の2つのねじ穴4f（図4）を使用する。これにより、平面表示ユニット5の中央上縁は、バックカバー4に設けた2つのシート14と上中央固定金具1

3の2つのつめ部13cとの間に挟まれるようにして固定される。

なお、平面表示ユニット5の左右側面の位置は、バックカバーの立ち上がり壁7、8の内側も設けられたリブ4bにより規制されるとともに、その間に挟み込んだ緩衝材としての両面接着テープ15が挟み込まれることとなる。

また、平面表示ユニット5の上面の位置も、バックカバーの上部の立ち上がり壁9の内側も設けリブ4aにより規制される。このようにして、平面表示ユニット5はその表面・裏面が挟み込まれるようにして保持されかつその位置が規制される。

次に、フロントカバー6が平面表示ユニット5の周囲にはめ込まれる。このフロントカバー6は、適当な樹脂により形成されており、その左右両縁およびその上面側は、バックカバー4の左右両縁の立ち上がり壁7、8および上面の立ち上がり壁9の内側に設けたつめ部4cに係合して保持される。このため、フロントカバー6にはつめ部4cに対応する位置につめ部4cに係合するつめ部6b（図4（b））が形成されている。また、このフロントカバー6の下面は、ヒンジ部材16を介してバックカバー4に固定される。

即ち、ヒンジ部材16は2つの穴を有し、一方の穴である外側の穴16aを用いてねじによりあらかじめバックカバー4のねじ穴4g（図5）に固定されている。そして、フロントカバー6のねじ固定用の穴6aを用いて、ヒンジ部材16の他方の穴16bを通してバックカバー4のねじ穴4hにねじ込むことによりヒンジ部材16と共締めして固定される。

なお、ヒンジ部材16は、携帯型コンピュータの表示部2が本体1に対して回転する際に、適当な回転トルクを付与し、表示部2を本体1に対してスムーズな回転動作および所定の位置での停止を担保するためのものである。

なお、図 2 において、絶縁シート 17 は平面表示ユニット 5 のバックライトを点灯させるためのインバータ回路（図示せず）を取付けるのに使用されるものである。

次に図 12～図 23 を参照して、本発明の第 2 の実施形態について詳細に説明する。

図 12 は本発明の第 2 の実施形態に係る平面表示ユニットの取付構造を採用した携帯型コンピュータの表示部の分解斜視図である。第 1 実施形態の場合と同様、第 2 実施形態に係る表示部も、筐体を構成するバックカバー 24、平面表示ユニット 25、フロントカバー 26 からなる。

後述するように、平面表示ユニット 25 にサポート用の金具 27 を取り付け、ヒンジ 30 を取り付けしたフロントカバー 26 とバックカバー 24 とで金具 27 とクッション材 29、31 を挟んで平面表示ユニット 25 を固定する。

図 13 は平面表示ユニット 25 の両側にサポート用の金具 27 を取り付け状態を示す斜視図である。また、図 14 は図 13 の A 部の拡大斜視図、図 15 は図 13 の B 部の拡大斜視図である。平面表示ユニット 25 は、第 1 実施形態の場合と同様、全体して矩形の平板状で、その両側面の全長に沿って 1 対のサポート用の金具 27、27 が取り付けられる。

各金具 27、27 は、平面表示ユニット 25 の側部の長さに略等しい長さを有し、平面表示ユニット 25 の厚さに略等しい幅を有する帯状の板で形成されている。そして、金具 27 の両端は平面表示ユニット 25 の上下面に沿うような折れ曲がり部 27a となっている（図 15）。また、金具 27 の幅方向に関して片側の縁は、折れ曲がり部 27a とは逆の方向へ少しの寸法だけ折れ曲がった折れ曲がり部 27b を有する（図 14、図 15）。この折れ曲がり部 27



b は、金具 27 の長さ方向に関しては、中央部分を除く両側の相当の長さに渡って形成されている。

各金具 27 は、長さ方向に関してその両端に比較的近い 2 箇所の位置で平面表示ユニット 25 の側面にねじ 28 により固定されている。また、ねじ 28 による固定位置より更に両外側の 2 箇所の端の部分には、クッション材 29 がそれぞれ貼付されている。このクッション材 29 は略矩形板状で、金具 27 の幅と略同じ幅を有する。また、金具の折れ曲がり部 27 b の折れ曲がり寸法より小さい厚さを有する。

図 16 はフロントカバー 26 の両側にヒンジ 30 を取付けた状態を示す斜視図である。また、図 17 は図 16 の C 部の拡大斜視図、図 18 は図 16 の D 部の拡大斜視図である。フロントカバー 26 は矩形で枠状の形態であって、枠の外側は、矩形の平面表示ユニット 25 より若干大きい矩形であり、枠の内側は、平面表示ユニット 25 より若干小さい矩形となっている。

一方、1 対のヒンジ 30、30 はフロントカバー 26 の両側に設けられている壁部の内側にそれぞれ取付けられる。両ヒンジ 30、30 は左右対称の形状を有する。各ヒンジ 30 は、このコンピュータの表示部を本体部に対して開閉可能にするためのヒンジを構成するヒンジ部 30 a と、このヒンジ部 30 a から延びており且つフロントカバー 26 の側部に対応する長さを有するアーム部 30 b とが一体的に構成されたものである。

ヒンジ 30 はアーム部 30 b の長さ方向に関して間隔をおいた 2 箇所の位置でねじ 32 によりフロントカバー 26 の側部の壁部の内側に固定される。このため、フロントカバー 26 はその外周に沿って立ち上がり壁を有する。また、ヒンジ 30 の基部の付近には、図 17 に示すように、平面表示ユニット 25 の下面が当接するための

クッション材 31 が貼り付けられる。一方、フロントカバー 26 の側に、平面表示ユニット 25 の上面に当接するクッション材 31 が貼り付けられる（図 12）。このクッション材 31 は合計 4 箇所設けられ、平面表示ユニット 26 の上面及び下面の両サイド付近に当接し、平面表示ユニットを前後方向に関して弾性的に保持する。

図 19 は平面表示ユニット 25 をバックカバー 24 とフロントカバー 26 との間で挟み込んで固定した状態を示す平面図である。また、図 20 は、図 19 の E-E に沿った拡大断面図、図 21 は図 19 の F-F に沿った拡大断面図、図 22 は図 19 の G-G に沿った拡大断面図、図 23 は図 19 の H-H に沿った拡大断面図ある。

図 20 において、平面表示ユニット 25 をバックカバー 24 とフロントカバー 26 との間で挟み込んで固定した状態にて、平面表示ユニット 25 の上面（図 15 に示す金具 27 の折れ曲がり部 27a）とフロントカバー 26 の立ち上がり壁部 26a との間には、クッション材 31 が介在され、一方、平面表示ユニット 25 の下面（金具 27 の反対側の折れ曲がり部 27a）とフロントカバー 26 の立ち上がり壁部 26a との間にも、同様に、クッション材 31 が介在され、これにより、平面表示ユニット 25 はその上下方向がクッション材 31 を介して保持されることとなる。このクッション材 31 は、前述のように、平面表示ユニット 25 の上下面の左右端の近傍の 2 箇所の位置に設けられ、平面表示ユニット 25 の上下両側で、合計 4 箇所の位置に設けられている。

図 21 において、平面表示ユニット 25 をバックカバー 24 とフロントカバー 26 との間で挟み込んで固定した状態にて、平面表示ユニット 25 の側面（金具 27）とヒンジ 30 のアーム部 30b との間にも、クッション材 29 が介在される。このクッション材 29 は、前述のように、平面表示ユニット 25 の側面の上下端の近傍の

2 箇所 の 位置 に 設け られ、平 面 表 示 ユ ニ ッ ト 2 5 の 左 右 両 側 で、合 計 4 箇所 の 位置 に 設け られ て い る。

平 面 表 示 ユ ニ ッ ト 2 5 の 厚 さ 方 向 の 固 定 は、バ ッ ク カ バ ー 2 4 の リ ブ 2 4 a が 金 具 2 7 の 折 れ 曲 が り 部 2 7 b に 当 接 し て、平 面 表 示 ユ ニ ッ ト 2 5 が フ ロ ン ト カ バ ー 2 6 の 側 へ 押 圧 さ れ る こ と に よ り 行 わ れ る。こ の リ ブ 2 4 a は 金 具 2 7 の 折 れ 曲 が り 部 2 7 b の 長 さ に 対 応 し て バ ッ ク カ バ ー 2 4 の 内 側 壁 に 形 成 さ れ て い る。な お、バ ッ ク カ バ ー 2 4 と フ ロ ン ト カ バ ー 2 6 と の 間 の 固 定 は、図 1 2 に 示 す よ う に、例 え ば、矩 形 の フ ロ ン ト カ バ ー 2 6 の 4 箇所 の 角 部 に 対 応 す る 位置 に て ね じ 3 4 に よ り バ ッ ク カ バ ー 2 4 側 へ ね じ 止 め す る こ と に よ り 行 わ れ る。

図 2 2 に お い て、ヒ ン ジ 3 0 が ね じ 3 2 に よ り フ ロ ン ト カ バ ー 2 6 に 取 付 ら れ て い る 状 態 が 示 さ れ る。ヒ ン ジ 3 0 は 長 さ 方 向 に 隔 て た 2 箇所 の 位置 で、図 示 の よ う に、ね じ 3 2 を フ ロ ン ト カ バ ー 2 6 の 立 ち 上 が り 壁 部 2 6 a の 外 側 か ら 締 結 す る こ と に よ り 固 定 さ れ る。左 右 1 対 の ヒ ン ジ 3 0、3 0 は、対 称 の 形 状 を 有 し、フ ロ ン ト カ バ ー 2 6 の 両 側 の 立 ち 上 が り 壁 部 2 6 a に 沿 っ て そ の 外 側 に 取 付 け ら れ る。

図 2 3 に お い て、金 具 2 7 が ね じ 2 8 に よ り 平 面 表 示 ユ ニ ッ ト 2 5 に 取 付 け ら れ て い る 状 態 が 示 さ れ る。金 具 2 7 は 前 述 の よ う に 長 さ 方 向 に 隔 て た 2 箇所 の 位置 で、図 示 の よ う に、ね じ 2 8 を 平 面 表 示 ユ ニ ッ ト 2 5 の 側 面 に 締 結 さ れ る。左 右 1 対 の 金 具 2 7、2 7 は 同 一 の 形 状 を 有 し、平 面 表 示 ユ ニ ッ ト 2 5 の 両 側 面 に そ れ ぞ れ 固 定 さ れ る。

こ の よ う に、平 面 表 示 ユ ニ ッ ト 2 5 を バ ッ ク カ バ ー 2 4 と フ ロ ン ト カ バ ー 2 6 と の 間 で 挟 ん で 固 定 す る こ と に よ り 表 示 部 2 (図 1) が 組 み 立 て ら れ、ヒ ン ジ 3 0 を 携 帯 型 コ ン ピ ュ ー タ の 本 体 部 1 (図

1) に装着することで表示部 2 が本体部 1 に結合される。

図 2 4 は、本発明の第 2 実施形態を変形した別の実施形態で、アーム部分のないヒンジと、フロントカバーを示す。

即ち、前述の第 2 実施形態では、1 対のヒンジ 3 0、3 0 のそれぞれは、コンピュータの表示部を本体に対して開閉可能とするためのヒンジを構成するヒンジ部 3 0 a と、このヒンジ部 3 0 a から延びており且つフロントカバー 2 6 の側部に対応する長さを有するアーム部 3 0 とが一体的に構成されたものであった。しかしながら、図 2 4 に示すヒンジ 3 0' は、フロントカバー 2 6 の側部に沿って延びるアーム部分を有しておらず、表示部を本体に対して開閉可能とするための機能をもったヒンジを構成する部分のみからなる。

したがって、図 2 4 に示すヒンジ 3 0' は、図 1 2 におけるヒンジ 3 0 のアーム部 3 0 b をフロントカバー 2 6 の側部に固定するためのねじ 3 2 を必要としない。このヒンジ 3 0' は一方でコンピュータの本体側（図示せず）に固定され、他方でフロントカバー 2 6 又はバックカバー 2 4 に固定される。この固定方法については、詳細には示していないが、ヒンジ 3 0' に固定用の孔を設けると共に、フロントカバー 2 6 又はバックカバー 2 4 の側にねじ孔を設け、このねじ孔に、図示しないねじをヒンジ 3 0' の固定用孔に通してねじ込むことにより固定することができる。

以上添付図面を参照して本発明の実施の形態について説明したが、本発明は上記の実施の形態に限定されるものではなく、本発明の精神ないし範囲内において種々の形態、変形、修正等が可能である。

#### 産業上の利用可能性

以上説明したように、本発明の第 1 の実施形態では、矩形状の平

面表示ユニットを、その左右両縁はねじを介して、中央上縁は裏面・表面間を挟み込むことにより筐体であるバックカバーに固定する構造としたので、平面表示ユニットと筐体との間に、平面表示ユニットを固定するための特別なスペースを必要とせず、したがって装置の小型化を達成することができる。

また、本発明では、平面表示ユニットを中央上縁で固定するので、左右両縁部の側部固定金具を平面ユニットの全長にわたって備える必要がない。強度上の問題は、中央上縁固定具で解消できる。このため、これらの金具を小型化できる。これにより、平面ユニット構造体の製造原価を下げられるとともに、軽量化も図れるという効果がある。

また、本発明の第2の実施形態では、平面表示ユニット25をバックカバーやフロントカバーに直接ねじ止めすることなくクッション材のバネ性を介在させて固定したので、平面表示ユニットにかかる歪みを吸収、軽減することができる。

## 請 求 の 範 囲

1. 矩形状の平面ユニットを、その左右両側縁と中央上縁の3箇所で筐体に固定する構造であって、平面ユニットの左右両縁面にそれぞれ、側部固定金具がねじにより固定され、該側部固定金具がねじにより筐体に固定されると共に、平面ユニットの中央上縁は裏面・表面間を挟み込んで筐体に固定されることを特徴とする平面ユニット構造体。

2. 平面ユニットの中央上縁は、裏面が筐体に固定されたシートに接触し、表面が筐体に固定された上中央固定金具のつめ部に接触し、これらの間に挟み込まれて固定されることを特徴とする請求項1に記載の平面ユニット構造体。

3. 前記シートは弾性部材により構成されていることを特徴とする請求項2に記載の平面ユニット構造体。

4. 前記上中央固定金具は、本体と、該本体に対して開閉可能な平面ユニットを具備する表示部とからなる携帯型コンピュータの、フック部を具備し、表示部が本体に対して閉じられた時、表示部にある該フック部が本体にある係止部に係合することにより表示部が本体に対して係止されることを特徴とする請求項2に記載の平面ユニット構造体。

5. 前記フック部は前記上中央固定金具に形成された開口からなり、該開口が本体部の係止部を規定するつめ状部分に係合することにより表示部が本体に対して係止されることを特徴とする請求項3に記載の平面ユニット構造体。

6. 前記上中央固定金具は平面ユニットの上縁に平行な方向に隔てた2箇所の位置に固定用の穴を有し、これらの穴によりねじで筐体に固定されることを特徴とする請求項2に記載の平面ユニット構

造体。

7. 前記つめ部は平面ユニットの上縁に平行な方向に隔てて2つ設けられ、該2つのつめ部の間に前記フック部が形成されていることを特徴とする請求項6に記載の平面ユニット構造体。

8. 前記シートも前記2つのつめ部のそれぞれに対向して2つ設けられていることを特徴とする請求項6に記載の平面ユニット構造体。

9. 前記側部固定金具は、平面ユニットの左右両縁面にそれぞれ沿って延びる帯状部と、平面ユニットの左右両縁面の下端部を超えた部分にて前記帯状部に対して直角に折れ曲がった平坦な基端部とが一体形成されたL字形金具として構成されていることを特徴とする請求項1に記載の平面ユニット構造体。

10. 前記側部固定金具の帯状部は、平面ユニットの左右両縁面に沿って複数箇所ねじにより該平面ユニットの左右両縁面に固定され、前記平坦部は1箇所ねじにより筐体に固定されていることを特徴とする請求項1に記載の平面ユニット構造体。

11. 前記側部固定金具はばね性を有する金属材料により構成されていることを特徴とする請求項9に記載の平面ユニット構造体。

12. 前記側部固定金具の前記基端部と反対側の先端部は、平面ユニットの左右両縁面から離れていて、筐体の内壁面に弾発的に接触していることを特徴とする請求項11に記載の平面ユニット構造体。

13. 前記側部固定金具の前記帯状部と筐体の内壁面との間に緩衝部材を設けたことを特徴とする請求項9に記載の平面ユニット構造体。

14. 前記緩衝部材はばね性の金属材料からなることを特徴とする請求項13に記載の平面ユニット構造体。

15. 本体と、該本体に対して開閉可能な平面ユニットを具備する表示部とからなる携帯型コンピュータであって、

前記表示部は、筐体と、矩形状の平面ユニットとを具備し、該平面ユニットの左右両縁面にそれぞれ、側部固定金具がねじにより固定され、該側部固定金具がねじにより筐体に固定されると共に、平面ユニットの中央上縁は裏面・表面間を挟み込んで筐体に固定されていることを特徴とする携帯型コンピュータ。

16. 前記表示部は、矩形状の平面ユニットの外周に沿って該平面ユニットを筐体との間で挟み込むように装着される枠状のフロントカバーを具備することを特徴とする請求項15に記載の携帯型コンピュータ。

17. 前記筐体は、平面ユニットの上縁面と筐体の内壁面との間に、平面ユニットの上面に沿って間隔をおいて複数個のリブが一体的に設けられていることを特徴とする請求項15に記載の携帯型コンピュータ。

18. 矩形状の平面ユニットをその厚さ方向の両面からフロントカバーとバックカバーとの間に挟んで固定するようにした平面ユニット構造体において、前記平面ユニットの側面にねじにより金具を取付け、該金具と当接するようにクッション材を介在させて、前記平面ユニットの上下面或いは左右側面を前記クッション材を介して前記カバーに固定するようにしたことを特徴とする平面ユニット構造体。

19. 1対の前記金具が、前記平面ユニットの左右両側面にそれぞれ取付けられていることを特徴とする請求項18に記載の平面ユニット構造体。

20. 各金具は、前記平面ユニットの厚さと略同一の幅を有する帯状板からなり、その両端にて、前記平面ユニットの上下面に



当接する方向に折れ曲がった１対の折れ曲がり部を有することを特徴とする請求項１９に記載の平面ユニット構造体。

２１．前記クッション材は、前記平面ユニットの側面に固定された前記金具の長さ方向の両端付近にて、前記金具に１対貼付され、更に、前記１対の折れ曲がり部の外側に１対配置されていることを特徴とする請求項２０に記載の平面ユニット構造体。

２２．各金具は、その長さ方向の端部に近い２箇所の位置にてそれぞれねじにより前記平面ユニットの側面に固定され、これらのねじ固定位置の端部側の位置にて、前記クッション材が該金具に貼付されていることを特徴とする請求項２１に記載の平面ユニット構造体。

２３．各金具は、その幅方向の片側の位置にて、前記平面ユニットとは反対側に折れ曲がった第２の折れ曲がり部を有し、これらの第２の折れ曲がり部は、金具の長さ方向の中央部を除いて両端側に設けられ、平面ユニットがフロントカバーとバックカバーとの間に挟まれて固定される際、フロントカバーに設けられたリブに当接することを特徴とする請求項１９に記載の平面ユニット構造体。

２４．フロントカバーの左右両側に、１対のヒンジのアーム部がねじにより固定され、前記平面ユニットの側面に固定された金具と該ヒンジのアーム部との間に前記クッション材が介在されていることを特徴とする請求項１８に記載の平面ユニット構造体。

２５．各ヒンジのアーム部は、前後２箇所の位置にて、矩形枠状のフロントカバーの周囲にそって設けられた立ち上がり壁部にねじにより固定されていることを特徴とする請求項２４に記載の平面ユニット構造体。

２６．本体と、該本体に対して開閉可能な平面ユニットを具備する表示部とからなり、前記表示部は、矩形状の平面ユニットを厚さ

方向の両面からフロントカバーとバックカバーとの間に挟んで構成されてなる携帯型コンピュータであって、

前記平面ユニットの側面にねじにより金具を取付け、該金具と当接するようにクッション材を介在させて、前記平面ユニットの上下面或いは左右側面を前記カバーに固定するようにしたことを特徴とする携帯型コンピュータ。

27. フロントカバーの左右両側に、1対のヒンジのアーム部がねじにより固定されており、前記平面ユニットの側面に固定された前記金具と該ヒンジのアーム部との間に前記クッション材が介在されていると共に、各ヒンジは、その基端部が、装置の本体側に固定され、表示部の本体部に対する開閉を可能ならしめることを特徴とする請求項26に記載の平面ユニット構造体。

28. 前記平面表示ユニットの両側に1対のヒンジが設けられ、各ヒンジは、一方で前記本体にねじで固定され、他方で前記フロントカバー又はバックカバーに固定され、前記平面表示ユニットを前記本体に対して開閉可能としていることを特徴とする請求項26に記載の平面ユニット構造体。

Fig.1

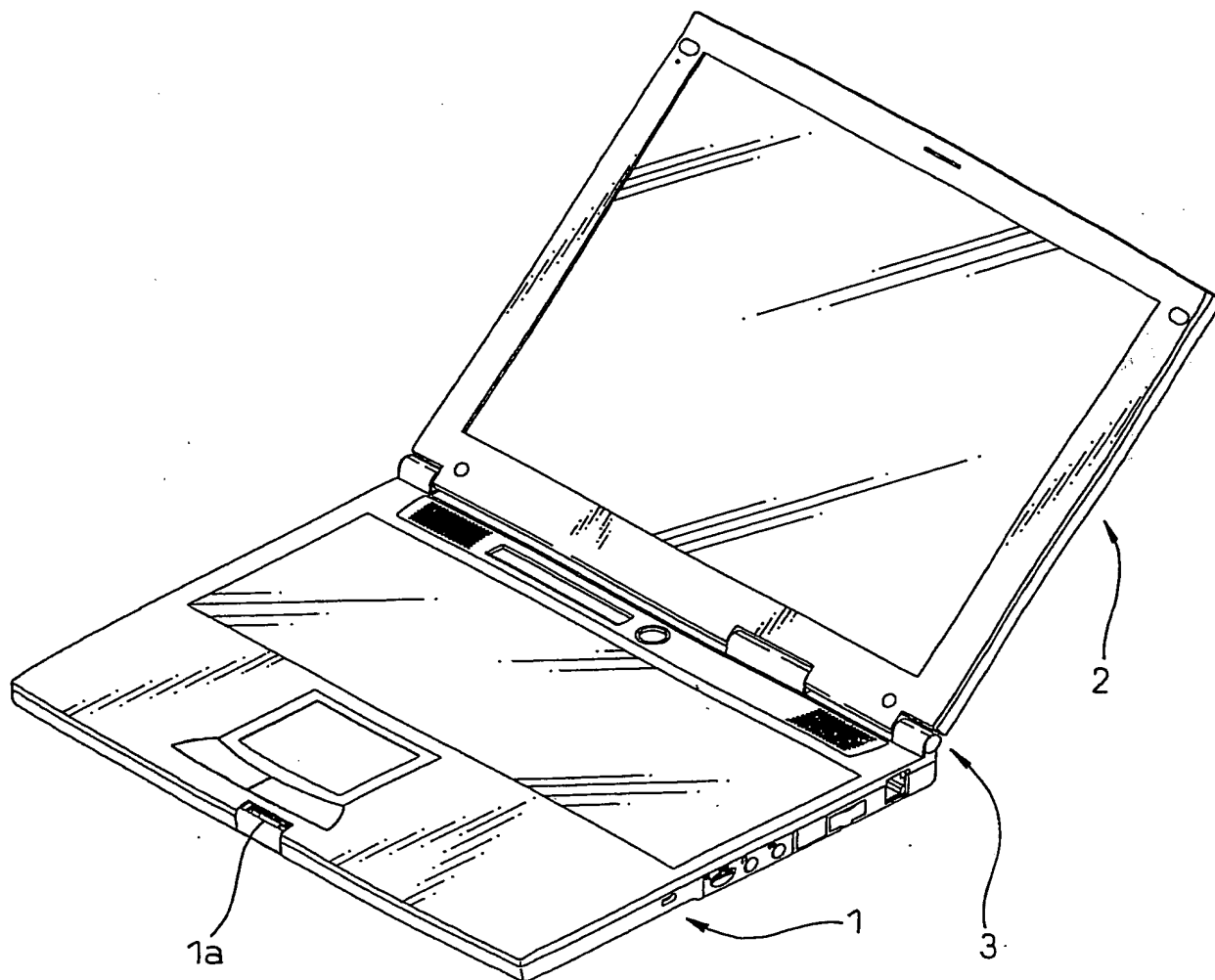


Fig.2

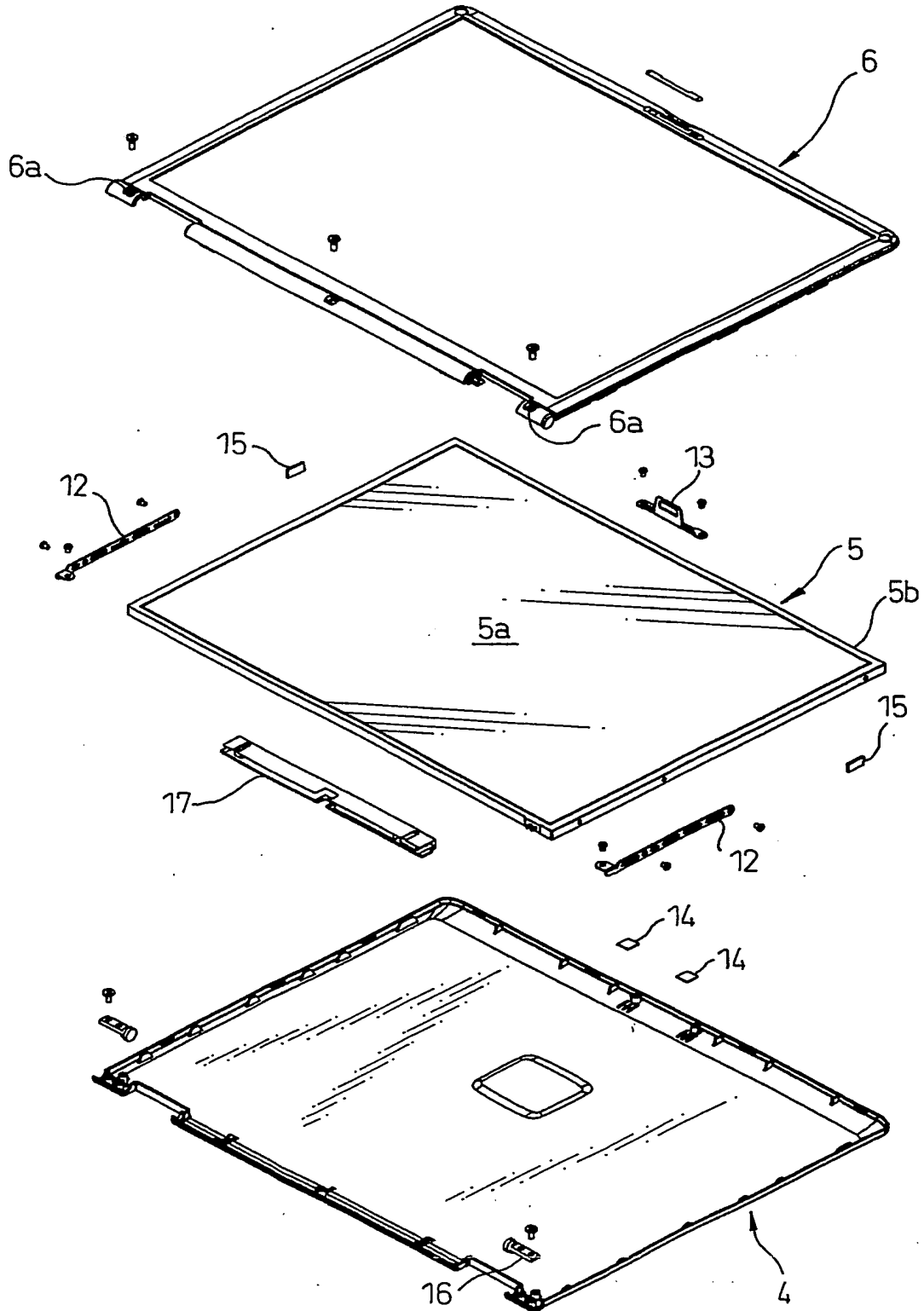


Fig.3

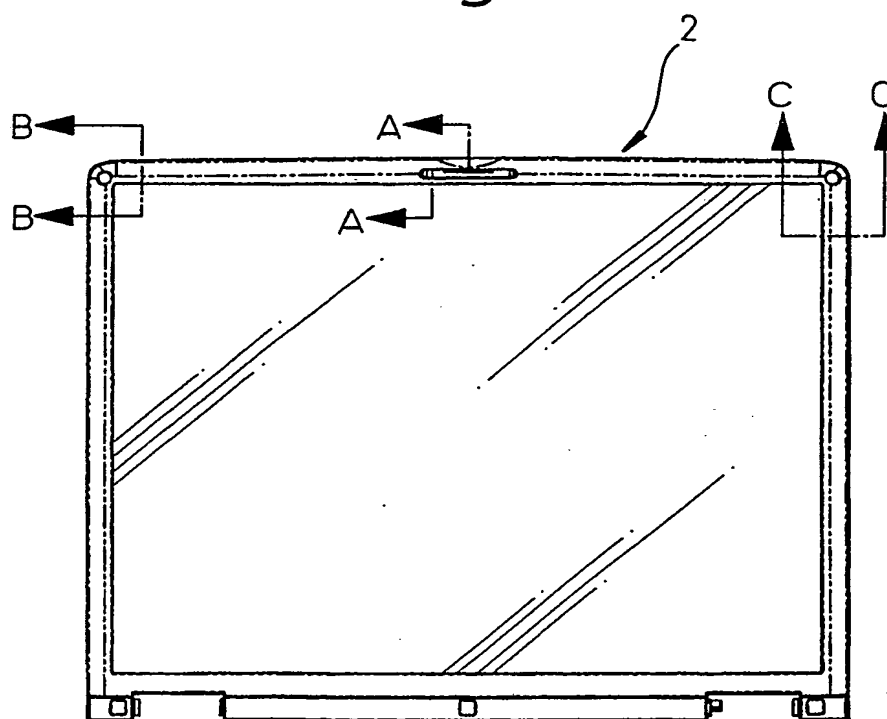


Fig.4(a)

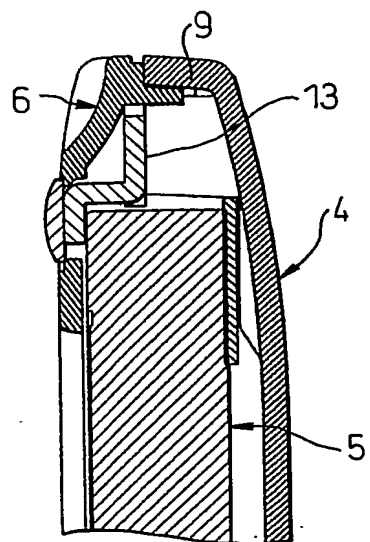


Fig.4(b)

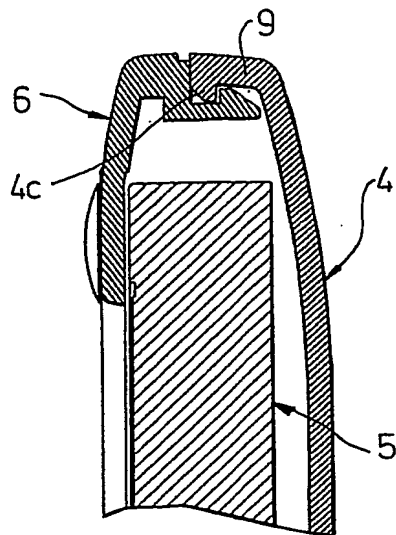
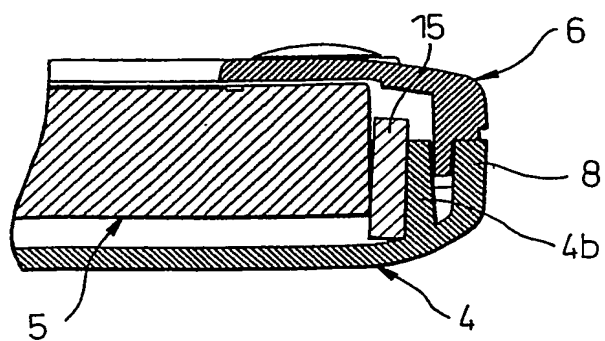


Fig.4(c)



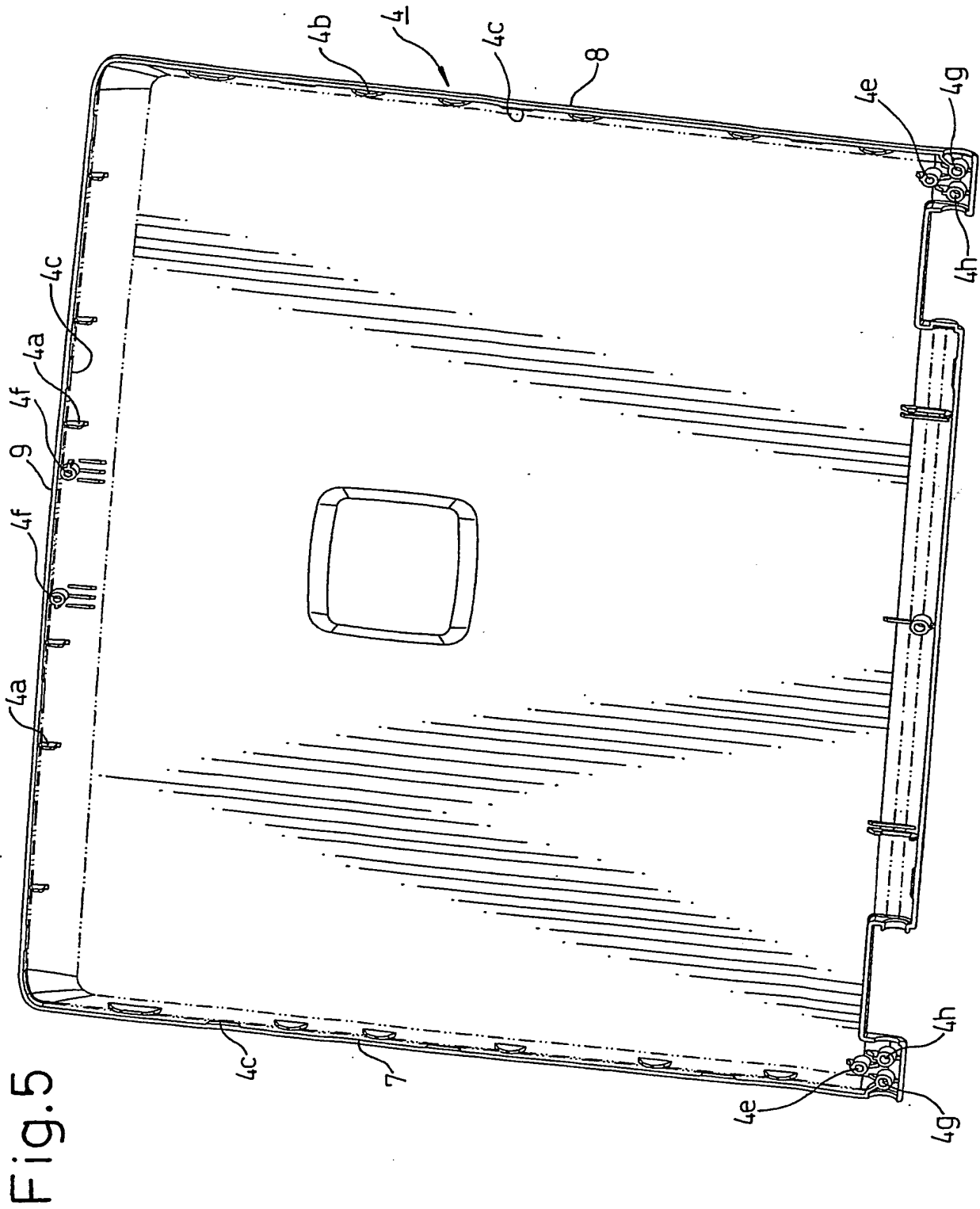


Fig. 5

Fig.6

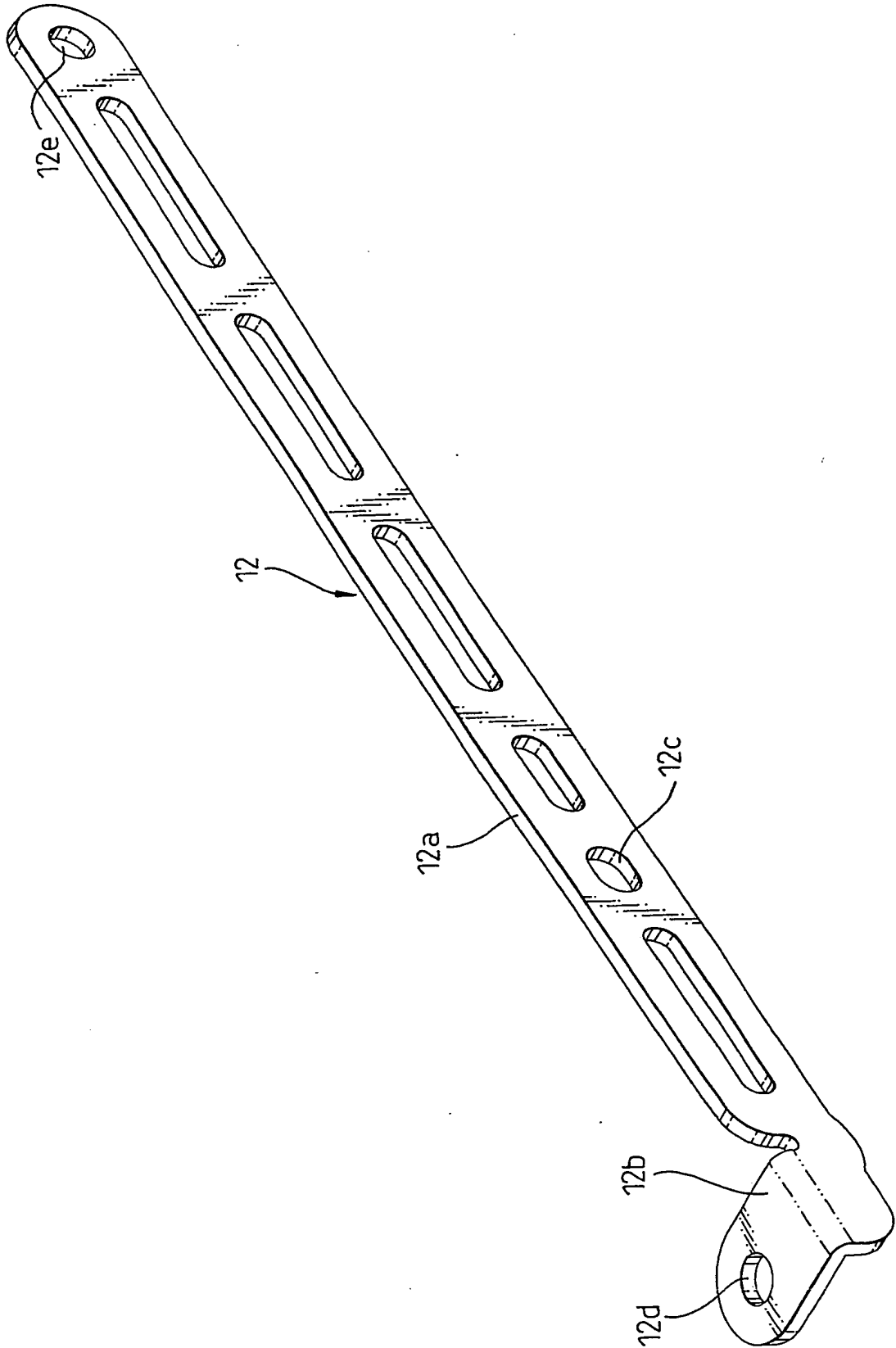




Fig. 7

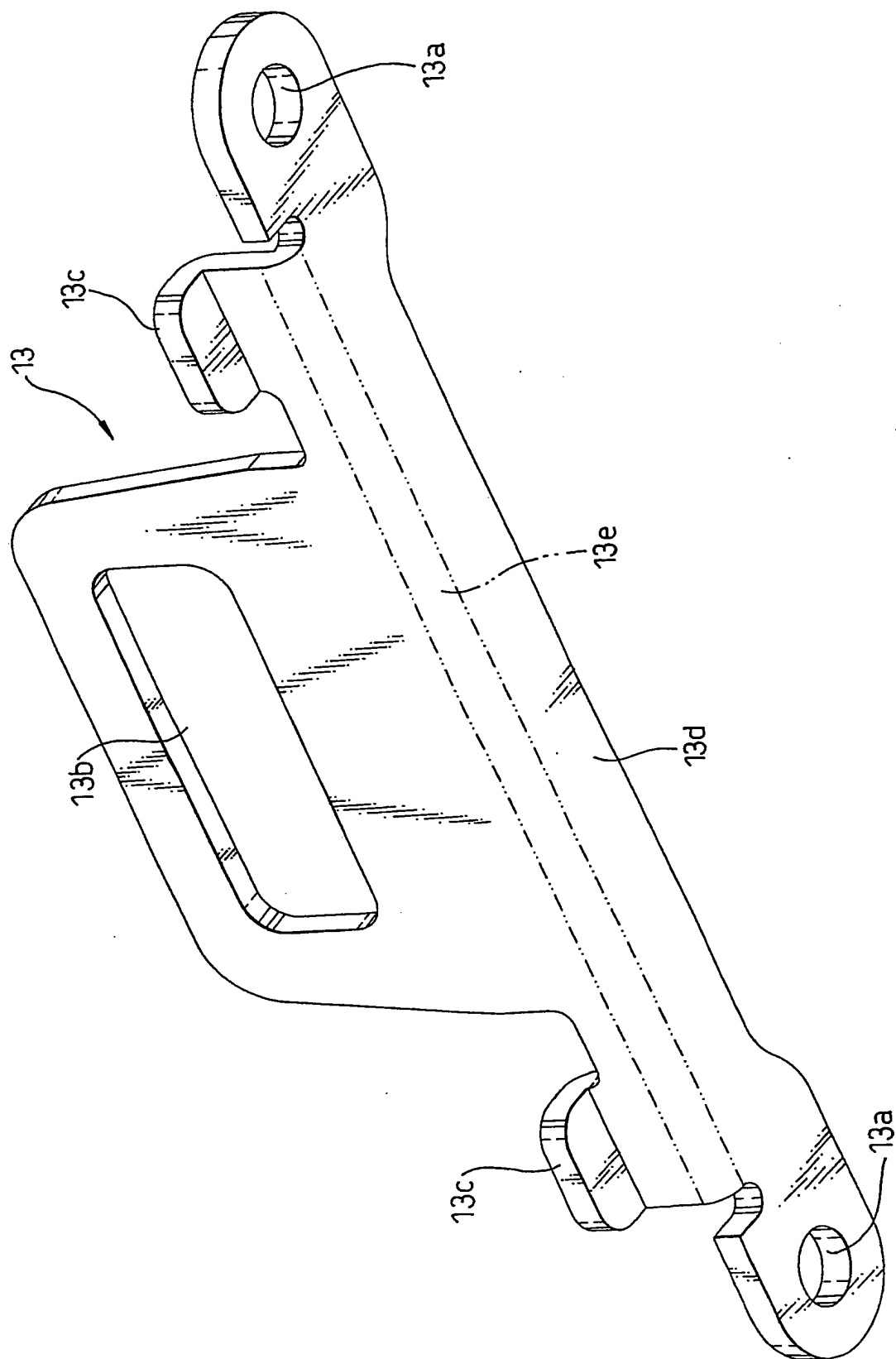


Fig.8

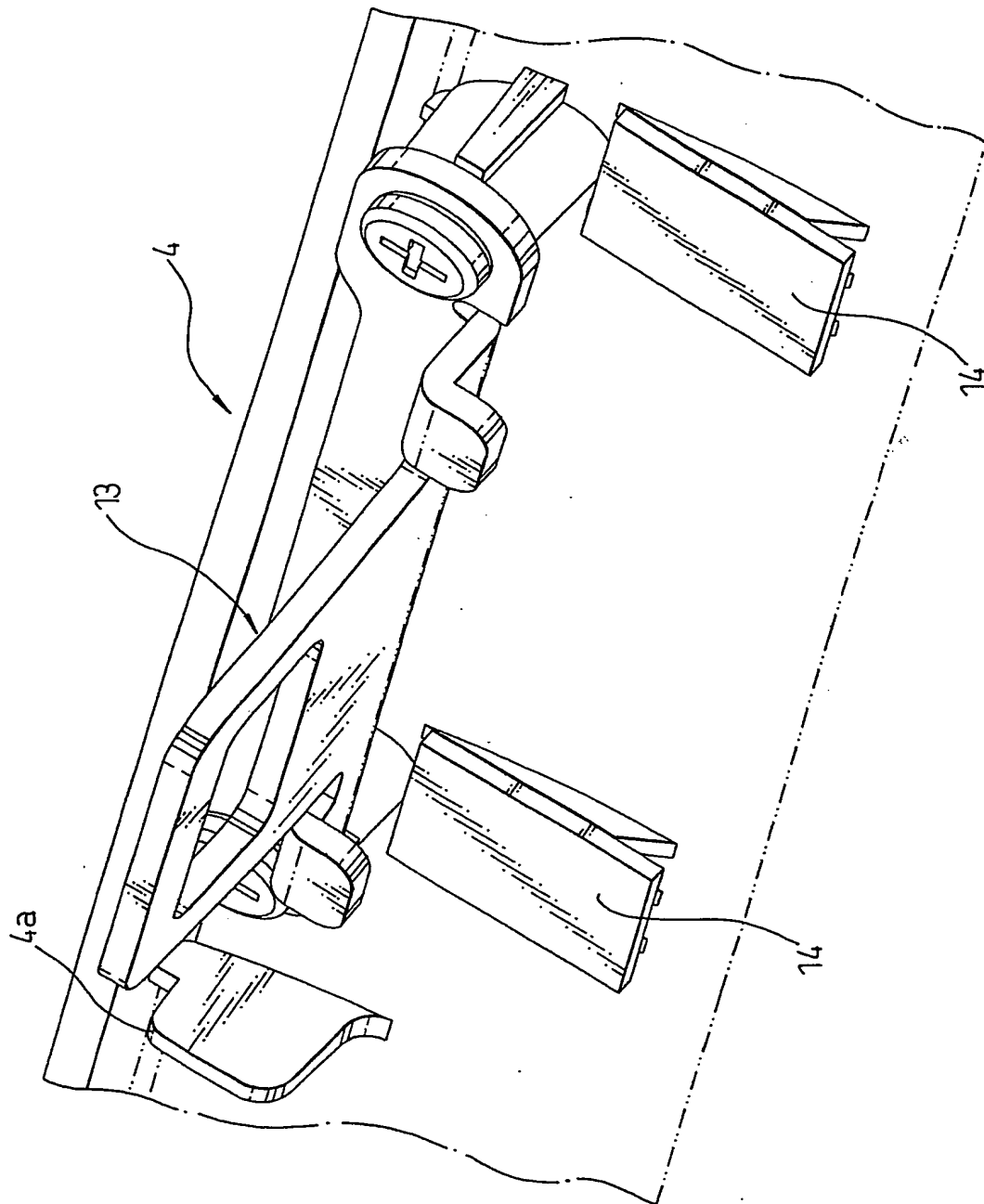


Fig.9

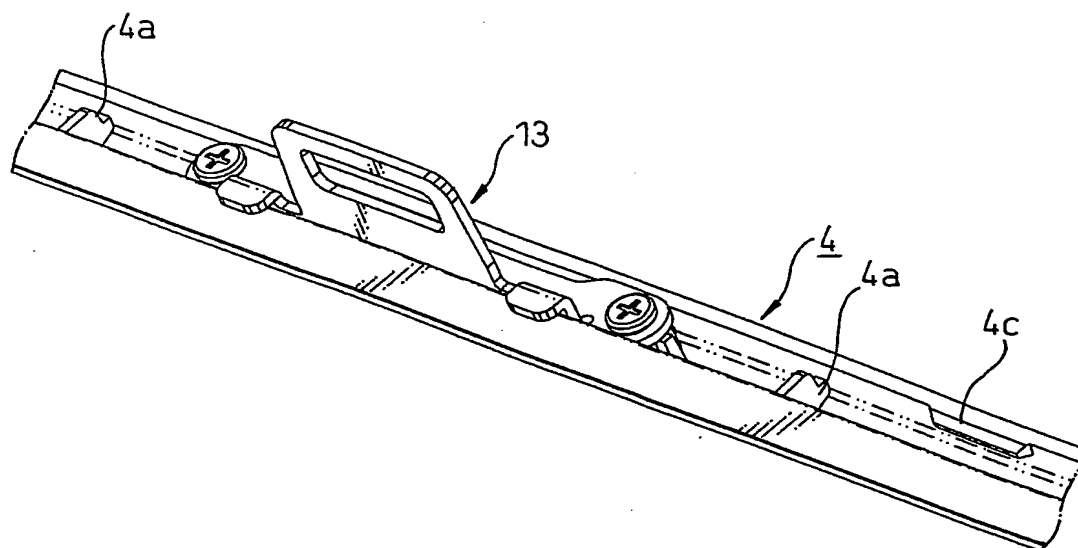


Fig.10

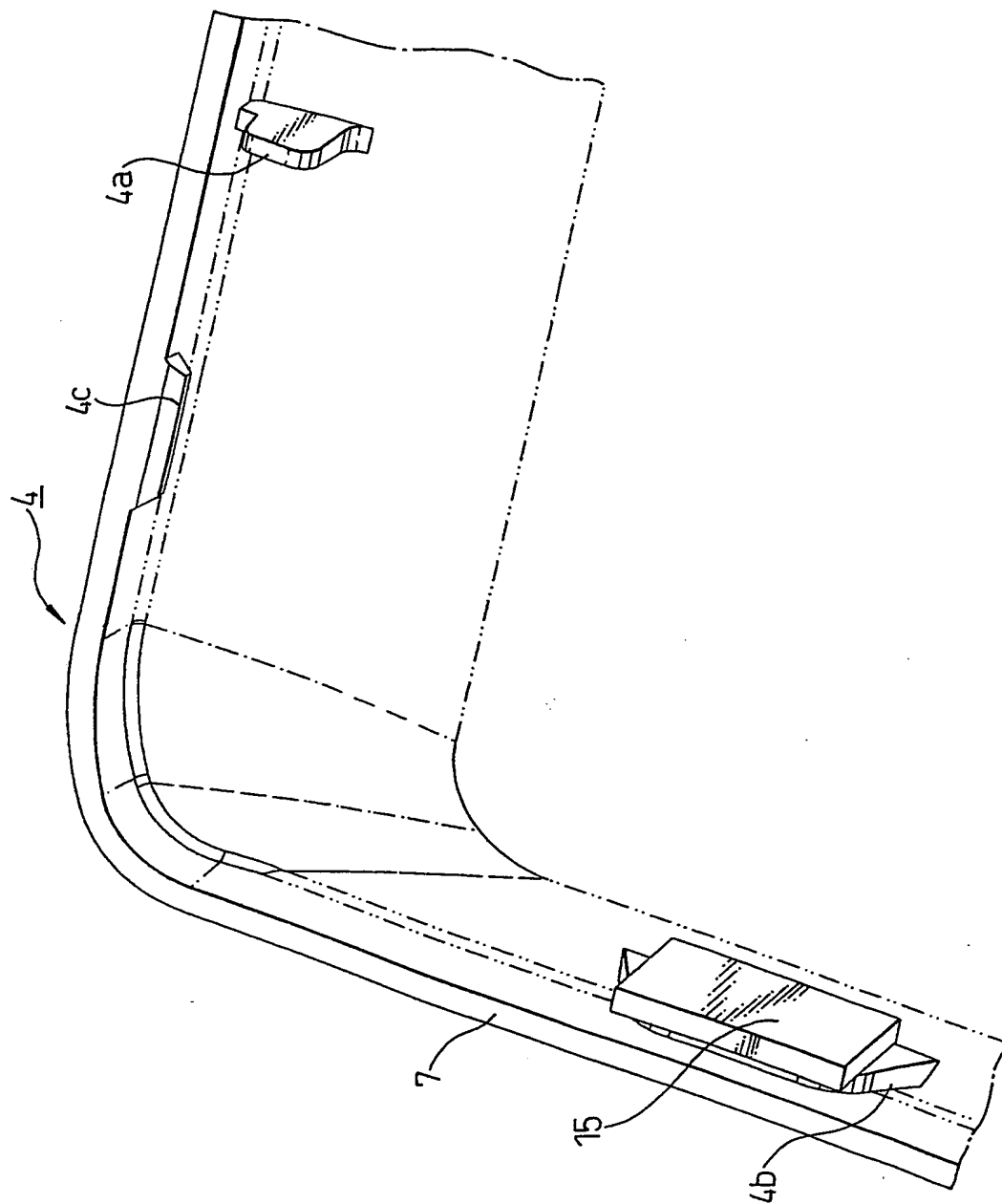


Fig.11

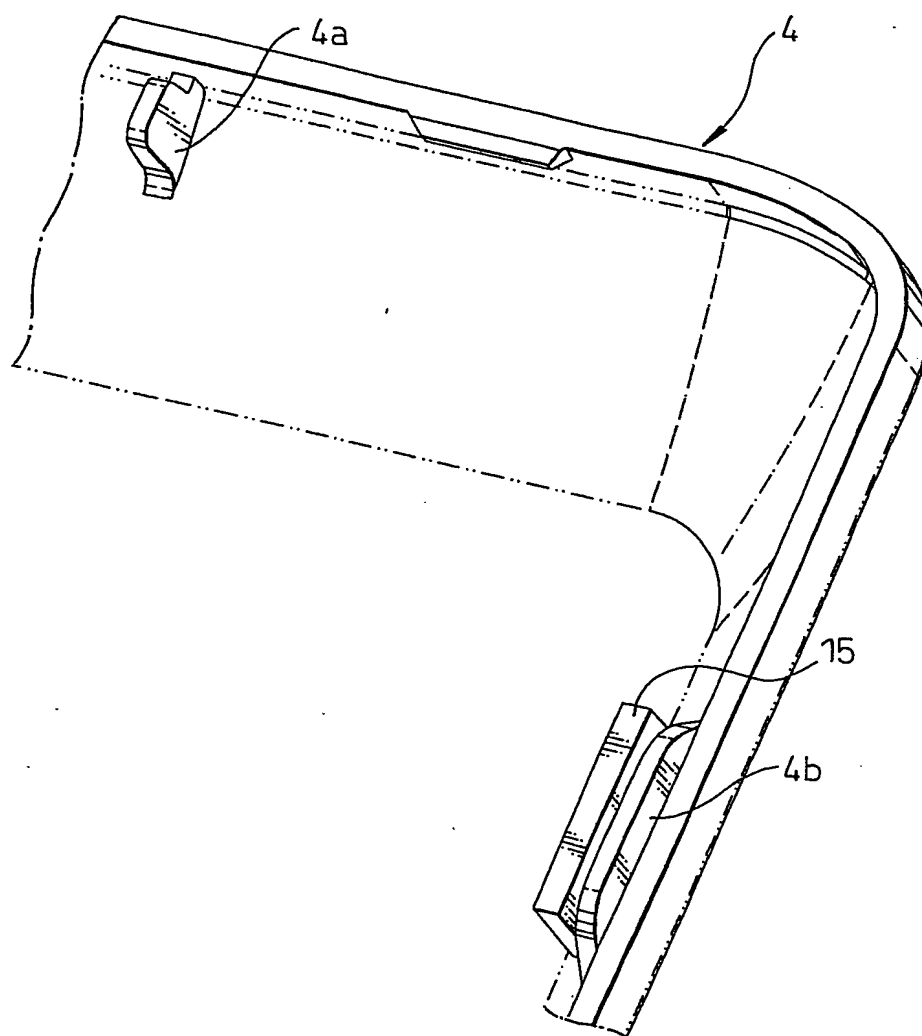


Fig.12

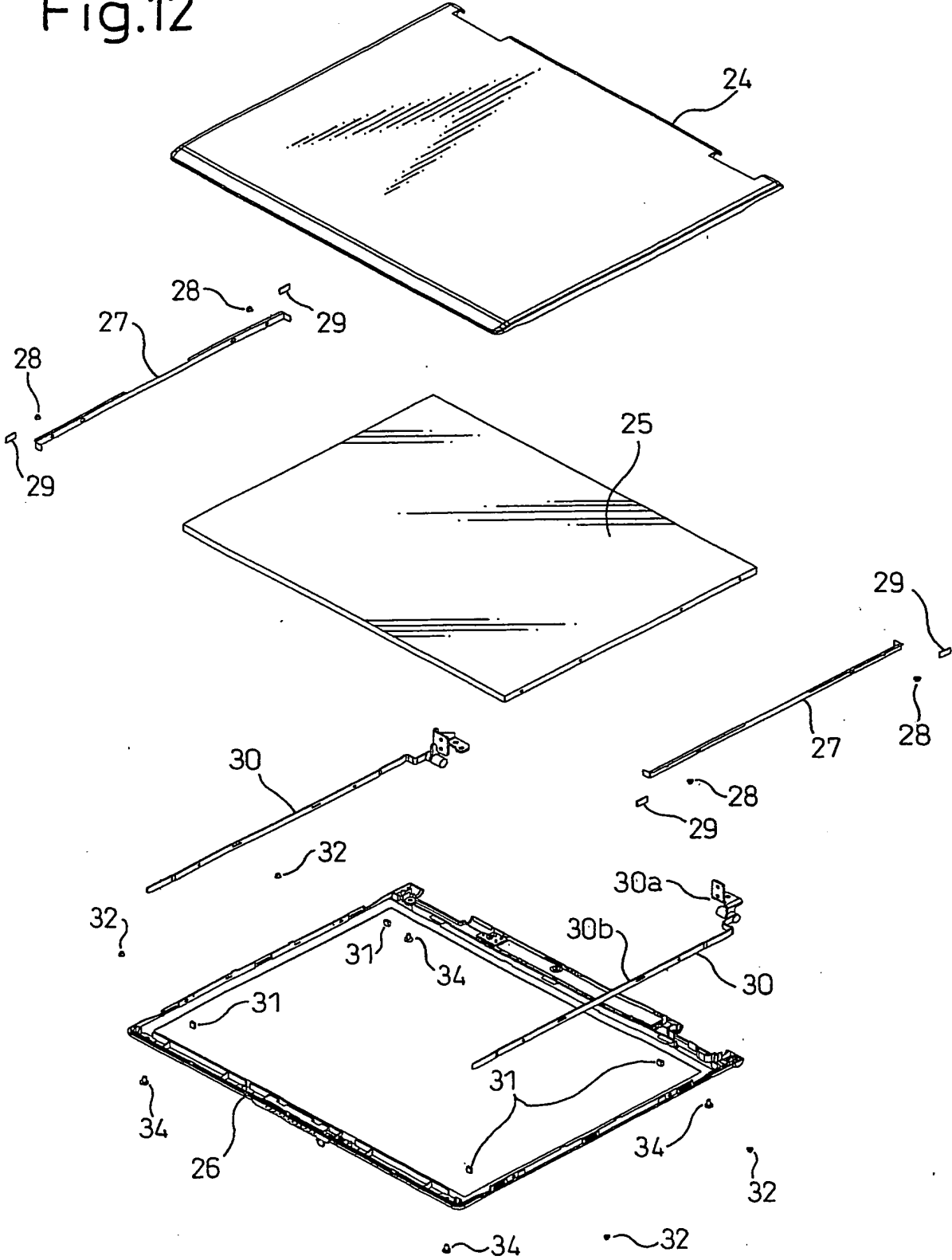


Fig.13

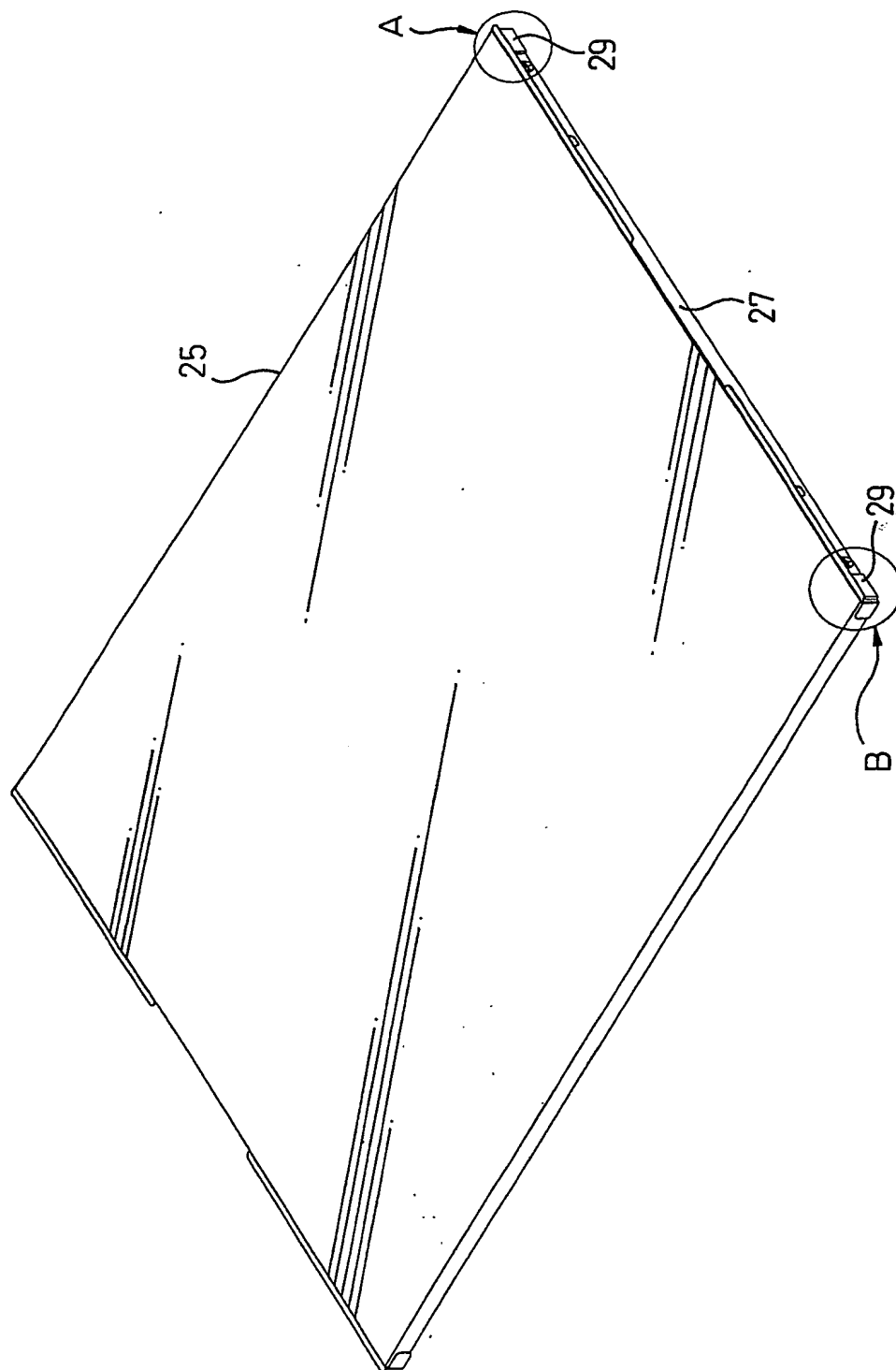
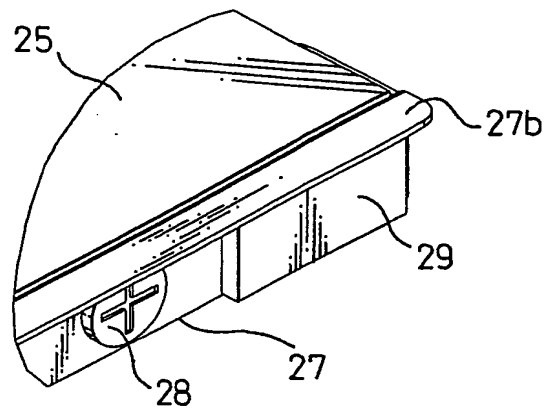
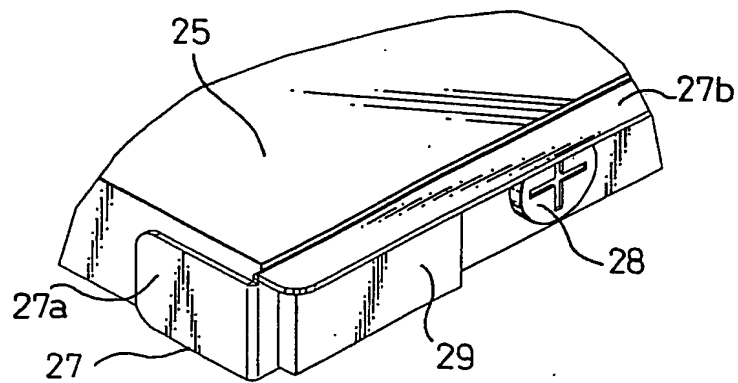


Fig.14



A部拡大図

Fig.15



B部拡大図



Fig.16

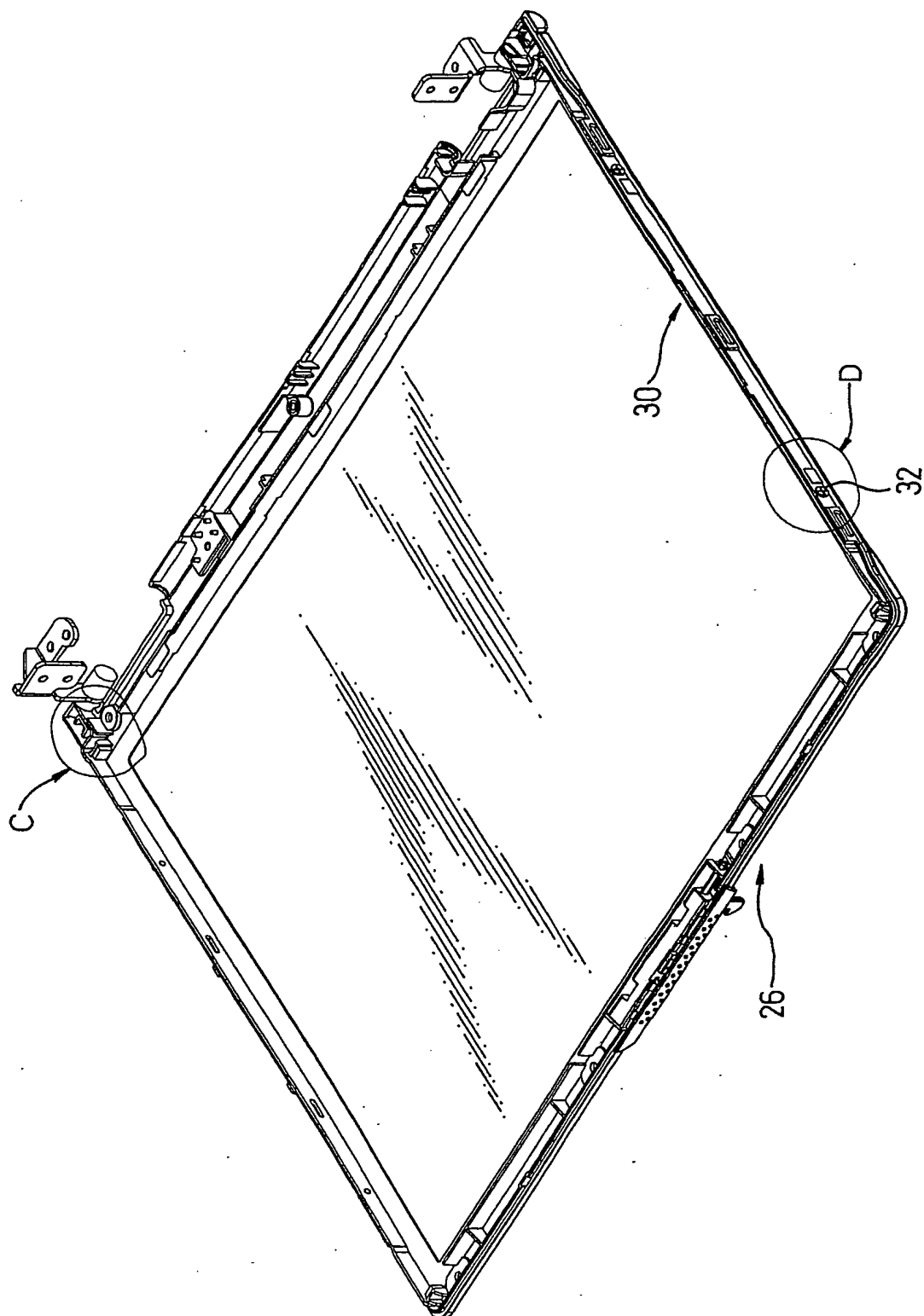


Fig.17

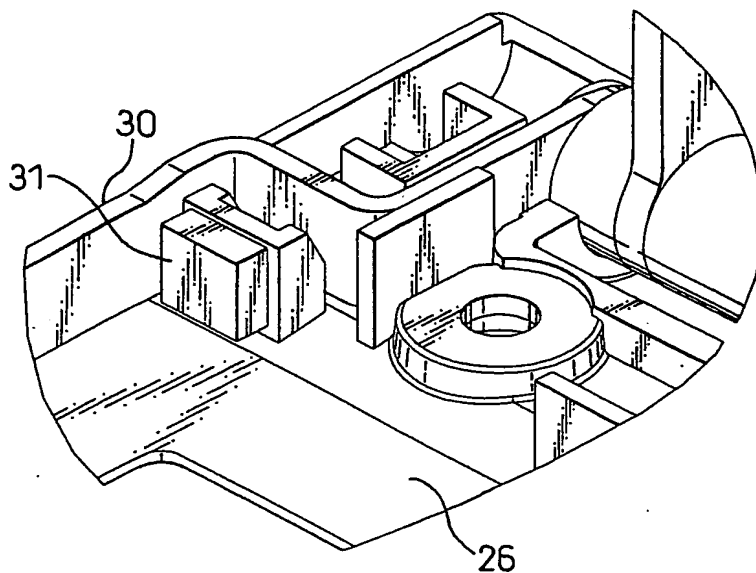


Fig.18

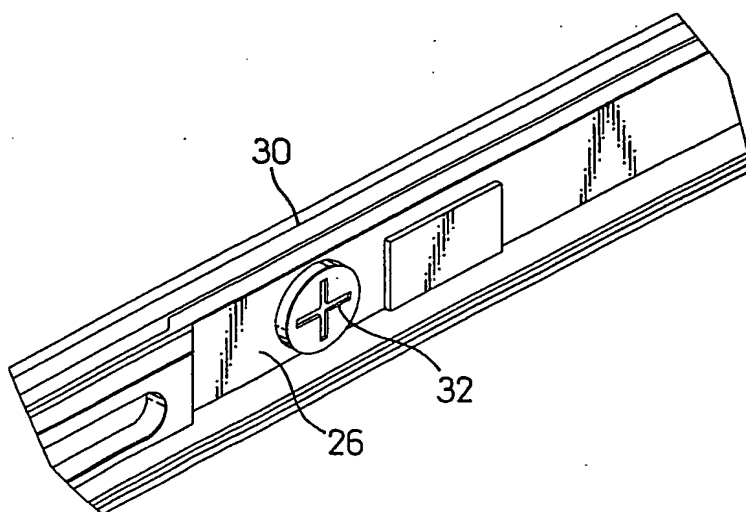


Fig.19

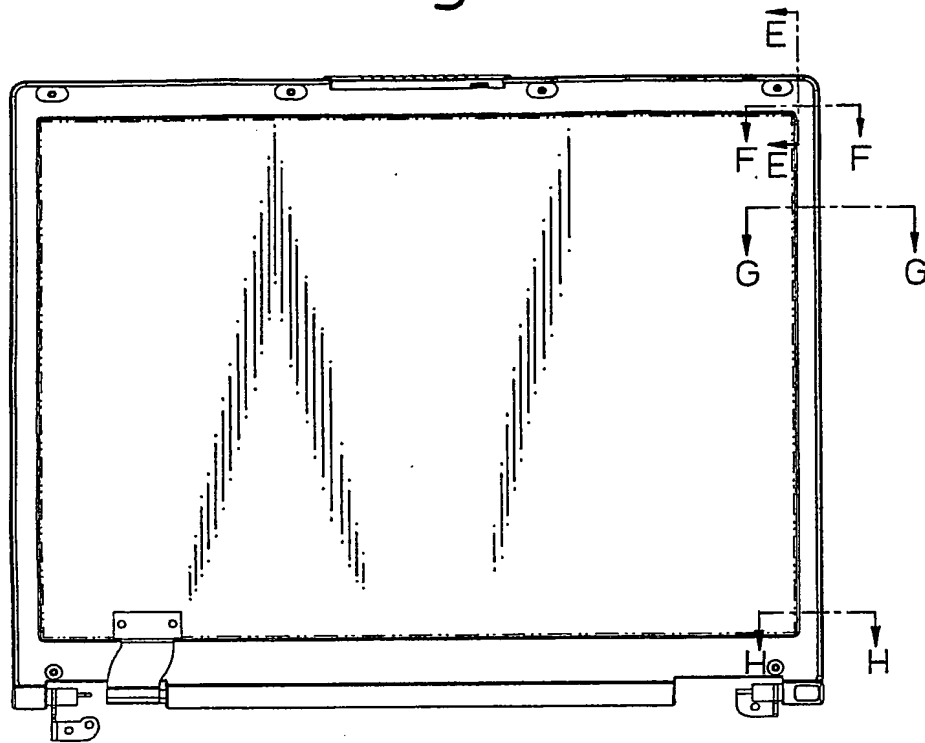
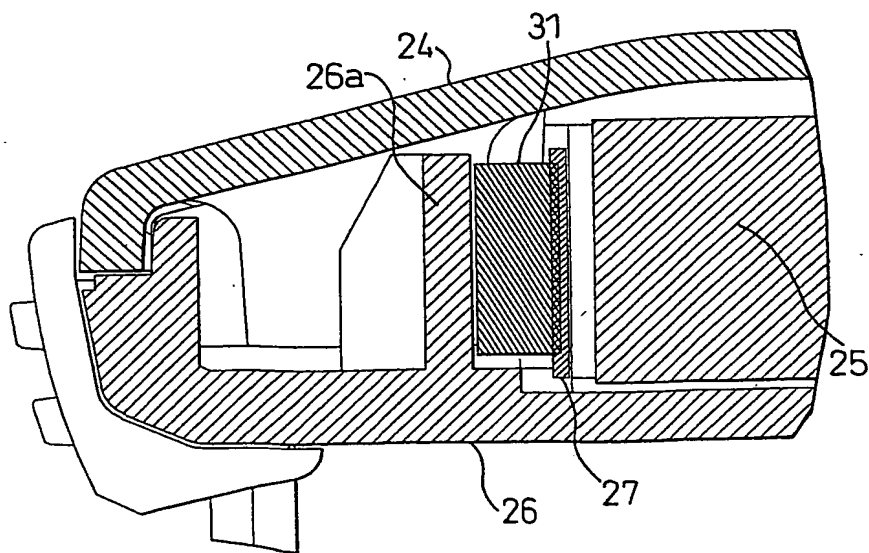


Fig.20



E—E断面図

Fig.21

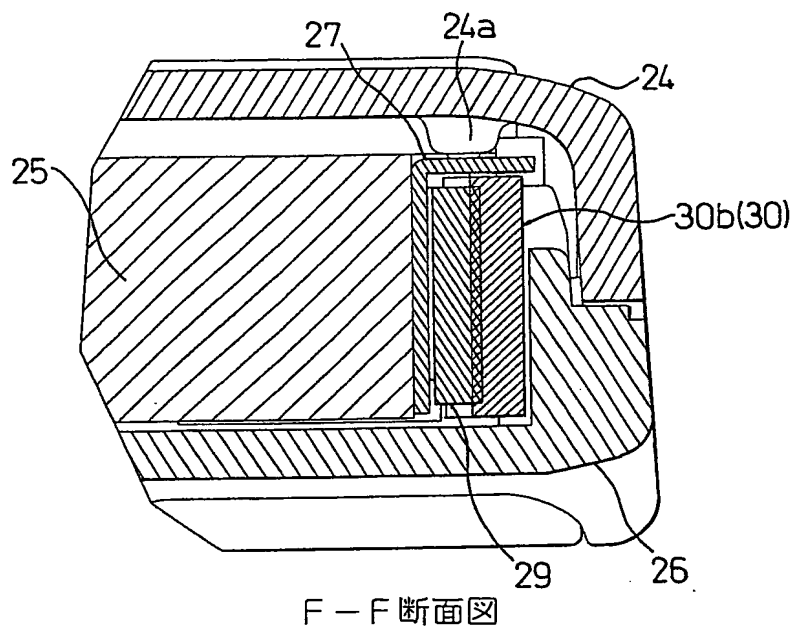


Fig.22

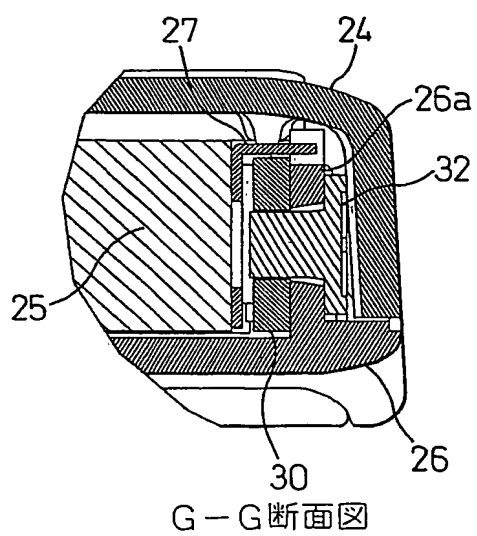


Fig.23

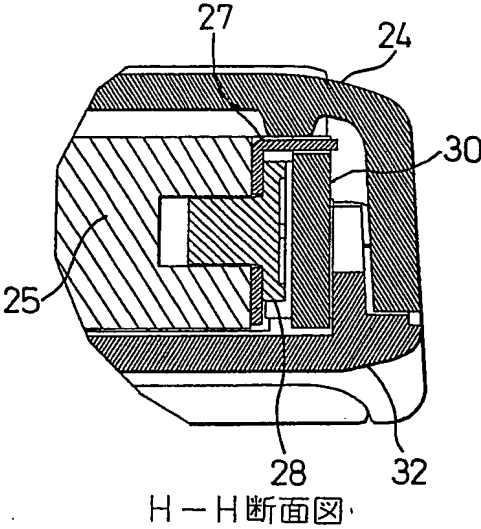


Fig.24

